

氏名 (法人にあっては名称)	株式会社F-Power
住所	東京都港区芝浦三丁目1番21号 田町ステーションタワーS 20階

自社等発電所(*1)の有無	無															
電気事業の概要	<p>株式会社F-Power（エフパワー）は、環境と経済の両立を標榜して設立された新電力です。</p> <p>当社では総合エネルギーサービス事業を展望し、電力の売買業務及び売買の仲介業務、発電及び電力の供給業務並びに送配電業務等の事業を展開しております。</p> <p>◇発電事業 環境価値の高い都市ガス焚きの発電所を関連会社を持ち、高効率のガス発電の最適な運用を実施しております。また再生可能エネルギーなど環境負荷の少ない電源調達を積極的に推進し、地球温暖化の対策と社会への貢献をめざします。</p> <p>◇電力小売事業 工場・オフィスビル・スーパー等大口から小口まで幅広く電力小売事業を行っています。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>清掃工場余剰電力や公営水力電源等の再生可能エネルギーを積極的に調達しており、排出係数の削減に一定の効果をもたらしております。加えてコジェネの電力も購入することで、温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでおります。</p> <p>平成28年度より電力低炭素協議会に加盟し、理事会の理事として参画しつつ、業界全体の環境負荷提言に協力しております。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実排出係数(*2)</th> <th>調整後排出係数(*3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度実績（2019年度）</td> <td>0.477 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.512 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>当年度目標（2020年度）</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>短期目標（2021年度）</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>長期目標（2030年度）</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)	前年度実績（2019年度）	0.477 (kg-CO ₂ /kWh)	0.512 (kg-CO ₂ /kWh)	当年度目標（2020年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	短期目標（2021年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	長期目標（2030年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)
	年 度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)													
	前年度実績（2019年度）	0.477 (kg-CO ₂ /kWh)	0.512 (kg-CO ₂ /kWh)													
	当年度目標（2020年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)													
	短期目標（2021年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)													
長期目標（2030年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)														
(目標に係る措置の考え方)																
<p>弊社は自社の需要家に対し、見える化サービスを提供。情報開示を通じて節電への取組みを支援するだけでなく、更なる負荷サービスとして「デマンドレスポンス・プログラム」を無償提供。報奨金を設けて節電を奨励するインセンティブ型のデマンドレスポンスをサービスとして提供することで、自社の環境負荷の低減に努めております。</p>																

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。

*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。

*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	短期目標 (2021年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	長期目標 (2030年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	自社における再生可能エネルギーを発電していく計画はないものの、電源入札や相対契約によって積極的に調達してまいります。		
	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2019年度)	586 (千kWh)	2.83 (%)
	当年度目標 (2020年度)	586 (千kWh)	2.83 (%)
	短期目標 (2021年度)	586 (千kWh)	2.83 (%)
	長期目標 (2030年度)	586 (千kWh)	2.83 (%)
(目標に係る措置の内容)			
入札市場ではFIT及びRPSに該当するバイオマス発電(いわゆるごみ発)の導入を進め、国内全てのエリアをカバーする調達の専門部署を設立。RPS価値の義務履行量を満たせるだけの電源獲得に当たるほか、他社とのRPS価値取引を担当しております。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	コジェネ発電の分散電源を購入するなど、純粋な再生可能エネルギーの他にも環境負荷の低い発電方式の導入を推進しております。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	運転台数の制御、時間管理、運転調整、気温による時間帯別発電出力管理などを実施し、発電効率の継続的な向上、維持を引き続き実現して参ります。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	自社の需要家に対し、電力需要の見える化サービスを提供。情報開示を通じて節電への取組みを支援するだけでなく、更なる負荷サービスとして「デマンドレスポンス・プログラム」を無償提供。報奨金を設けて節電を奨励するインセンティブ型のデマンドレスポンスをサービスとして提供することで、環境負荷の低減に努めております。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	電源入札や民間企業から再エネを積極的に調達しており、加えてコジェネの電力も購入することで、温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでおります。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー(太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの)による発電量のうち市内分をいう。
 *5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分を除いたものをいう。
 *6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。
 *7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分を除いたものをいう。
 *8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物(バイオマスを除く)の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。